

北部産業創造センターがオープンしました

—中丹技術支援室の機能を強化—

新たな産業支援拠点「北部産業創造センター」が綾部市にオープンし、5月22日に開所記念式が開催されました。このセンターは京都府、綾部市、京都工芸繊維大学、グンゼ株式会社の4者の連携により整備されたものです。中丹技術支援室は、4月からこの中に移転し、新規機器の導入等により技術支援を充実しています。地域の方々への多目的利用スペースの開放、大学施設の併設など、幅広い方々に利用いただける「北部産業創造センター」の施設と、今年度予定している当室の事業を紹介します。

連携型の産業支援拠点施設

北部産業創造センターは、京都府中小企業技術センター、綾部市、京都工芸繊維大学が入居する連携型の産業支援拠点施設です。

中丹技術支援室は、これまで北部産業技術支援センター・綾部で行っていた企業への技術支援、機器開放機能を強化・充実しました。駅前の好立地を活かして綾部市が設置した「ビジネス向け多目的ホール」及び月替わり展示ブースの開放を行う「ものづくり交流館」、地域課題の解決・地域資源の発掘など大学の知恵を活かしたフィールドワークの場となる「京都工芸繊維大学 綾部地域連携室」などと合わせて、産学連携・地域連携が自然と生まれる環境です。



綾部市ものづくり交流館
多目的ホール



京都工芸繊維大学綾部地域連携室

エントランスホールには無料WiFiが整備された「フリースペース・コネク」があり、パソコンを持ち込んだ出先での急な商談準備やテレワーク、商店街のミーティングなど、幅広い方々に利用いただけます。洗練された建物のデザインに合わせて配置された特徴的なイスやテーブルなど、一人で静かにゆっくりとアイデアを練ったり、複数の方々の集まりなど、気軽にご利用いただける空間です。



無料WiFiが整備されたフリースペース・コネク

また、ものづくりマインドの高い市内企業の商品をご覧いただけるよう、京都府新商品・サービス販売促進支援制度(チャレンジバイ)で認定された商品を展示するとともに、中丹技術支援室の事務室カウンターには顔認証や音声認識ができるコミュニケーションロボットを常設しており、AIを体感いただくこともできます。



正面玄関のチャレンジバイ認定品展示



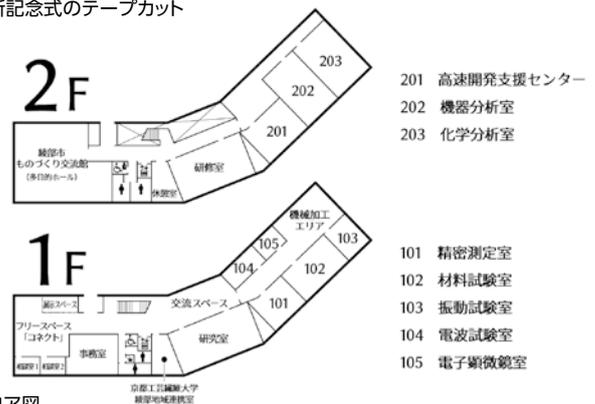
コミュニケーションロボット(左奥)



北部産業創造センター外観



開所記念式のテープカット



フロア図

今後の事業展開

このセンターの中核として、ものづくりのスピードアップ・設計開発支援を強力にバックアップするのが「高速開発支援センター」をはじめとする設備、機器です(本誌4月号、5月号に掲載)。これらのハードを活用して、以下のソフト事業を展開します。

① デジタルマニュファクチャリング研究会

開発プロセスのリードタイムを短縮するためにCAEを用いたシミュレーション解析を取り入れる「フロントローディング型商品開発」を支援する研究会を発足します。

具体事例をモデルとして「商品デザイン→CAD設計/CAE解析のモデル化・実習→3Dプリンタによる試作→実物での解析・評価」という一連の流れを実習形式で学んだり、会員企業の個別課



研究会活動の拠点となる
高速開発支援センター

題への相談にも応じて商品開発志向の人材育成を支援するものです。京都工芸繊維大学のプロダクトデザイナーによるデザインとトポロジー最適化の融合を図りつつ、新商品のアイデアやヒントを模索するワークショップも計画しています。

②IoT実習セミナー

IoTの基礎的な知識・技術を習得し、工場の品質・生産管理のネットワーク化などに活かせる人材の育成を目的として「IoT実習セミナー」を新規開設しました。前期を実施したところ、府北部地域の企業のみならず府南部からも参加されるなど大変好評でした。各自が持ち込まれたパソコンにマイコンArduinoを接続し、プログラムを作成。あわせてブレッドボードに簡易的に配線したLEDの点滅パターンを変えたり、プログラムの終点を知らせるブザーを鳴らしたりという実習に、皆さん熱心に取り組まれました。更に多くの企業で、IoTの内製化による製造現場の改良・改善が図られるよう、11月に再度実施予定です。



IoT実習セミナー(前期)の様子

③実践CADセミナー

3次元CADのオペレーションに必要な知識・技術力を身に付け設計力・デジタルデータ管理ができる人材を育成するため、業界でデファクトスタンダードとなっている3次元CAD(AUTODESK INVENTOR,SOLIDWORKS)を対象としたセミナーを実施します。3次元モデル、アセンブリ、図面の作成までの一連の流れや、各ソフトの特徴や活用方法について実習形式で進めますので、CAEでの解析の基礎データ作成やシミュレーションに必要な形状や構造の表現も習得できます。先述のデジタルマニファクチャリング研究会への発展テーマの創出も期待しています。(開催時期(予定):8月、12月)

④品質管理講座

品質管理講座は、ものづくり現場における生産管理能力や信頼性の向上を目指すことを目的として、品質管理手法や問題解決、標準化について、基礎講座と上級講座をそれぞれ開講しています。毎年人気の講座



品質管理講座(昨年度)の様子

で、9月上旬のQC検定(2級・3級)の受験対策にもなるよう6月から8月にかけて開催しています。受講された方々が、「品質管理を学ぶ第一歩」として後輩に薦められることも多く、この講座で学んだことが社内の「共通の言語」となり、企業の継続的な品質保証活動に繋がっていくことがこの講座の本質だと考えています。

⑤機器操作・活用セミナー等

今回建物の整備にあわせて新規導入や更新をした機器を優先的に、機器操作・活用セミナーを実施します。実際に触れて、試していただく実習形式の少人数制セミナーですので、測定・分析の原理からサンプルのサイズ調整や前処理の方法、データの解析まで、実際に利用いただくときに必要な知識を凝縮して習得いただけます。単に使い方を学ぶだけでなく、自社が抱えている課題の解決や視野を広げるきっかけにもご利用ください。(開催時期(予定):7月~12月)



機器操作・活用セミナー(昨年度)の様子

<対象機器の例>



走査電子顕微鏡 JSM-IT300HR	三次元光学 プロファイラー JED-2300(EDS)	スパーク放電 発光分析装置 PDA-7000	コンタミネーション 解析システム RH-2000-PC
OIM7.2(EBSD)			

●お問い合わせ先/ 京都府中小企業技術センター 中丹技術支援室 TEL:0773-43-4340 E-mail:chutan@kptc.jp

創業を決意された方の「夢」あるチャレンジをサポートします!

ほくと創業支援ローン

創業に必要な設備資金・運転資金にご利用下さい。

地域元気宣言の
京都北都信用金庫